

平成 23 年度

# 事 業 報 告

(平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)

公益財団法人 ブレインサイエンス振興財団

Brain Science Foundation

# 平成 23 年度 事業報告

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

## I. 事業の概要

平成 23 年度は下記のように、研究助成、褒賞、国際交流事業及び普及事業を実施した。

### 1. 研究活動に対する助成

平成 23 年 7 月、募集要領を、関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、研究助成候補者を公募。

締切日(平成 23 年 10 月 14 日)までに 64 件の応募があり選考の結果下記 10 件の助成を決定。 1 件=100 万円

- |                   |  |
|-------------------|--|
| かきざわ しやう<br>柿澤 昌  | (京都大学大学院薬学研究科 准教授)<br>「非酵素的翻訳後修飾による脳機能制御機構」                                      |
| さくらい たけし<br>櫻井 武  | (京都大学大学院医学研究科 特定准教授)<br>「社会性行動を担う遺伝子ネットワークの同定」                                   |
| たかはしひでひこ<br>高橋英彦  | (京都大学大学院医学研究科 准教授)<br>「分子神経イメージングによる神経経済学の発展」                                    |
| たくま ひろし<br>詫間 浩   | (筑波大学大学院人間総合科学研究科 講師)<br>「TDP-43 と RNA 編集に関連した孤発性筋萎縮性側索硬化症の発症に関与する microRNA の探索」 |
| たけいこうたろう<br>竹居光太郎 | (横浜市立大学大学院医学研究科 准教授)<br>「神経再生促進物質 LOTUS の生理機能解析」                                 |
| たなかまさき<br>田中真樹    | (北海道大学医学研究科 教授)<br>「時間情報処理における大脳小脳連関の役割」   |
| とよだひろき<br>豊田博紀    | (大阪大学大学院歯学研究科 准教授)<br>「神経麻痺の神経機構の解明」   |
| なるしま まどか<br>鳴島 円  | (東京女子医科大学医学部 助教)<br>「体性感覚野における特徴抽出機構の発達解析」                                       |
| まつおりようた<br>松尾亮太   | (徳島文理大学・香川薬学部 講師)<br>「ニューロンにおける核内 DNA 増幅メカニズムの解明」                                |
| やなぎさわたくみ<br>柳澤琢史  | (大阪大学医学系研究科 特任研究員)<br>「脳磁計による神経義手の ALS 患者への適応」                                   |

### 2. 研究に対する褒賞

平成 23 年 7 月、推薦要領を、関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、塚原仲晃記念賞受賞候補者の推薦を公募。

締切日(平成 23 年 10 月 14 日)までに、11 件の推薦があり、選考の結果下記 2 件の授賞を決定。 各 100 万円

- 笹井芳樹 (理化学研究所 器官発生研究グループ グループディレクター)  
「脳発生の試験管内再現による制御機序の研究」
- 上田泰己 (理化学研究所 システムバイオロジー研究プロジェクト  
プロジェクト・リーダー)  
「哺乳類概日時計による環境の内部表現の解明」

### 3. 国際交流助成

#### (1) 海外派遣研究助成

平成 23 年 7 月、募集要領を関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、海外派遣研究助成候補者を公募。

締切日 (平成 24 年 1 月 13 日) までに、7 件の応募があり、選考の結果本年度は 該当なし と決定。

#### (2) 海外研究者招聘助成

平成 23 年 7 月、募集要領を関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、海外研究者招聘助成候補者を公募。

締切日 (平成 24 年 1 月 13 日) までに、11 件の応募があり、選考の結果下記 8 件の助成を決定。 合計 200 万円

申込者：バディム・ジンチク (高知大学医学部助教)

ベルンド・ウォルシェイド氏 (チューリッヒ工科大学研究室長) を、  
第 14 回国際組織細胞化学会議における講演者として招待。20 万円。  
研究テーマ「生きた細胞・組織におけるリガンド依存的な受容体同定のためのプロテオミクス法」

申込者：山本慎也 (産業技術総合研究所研究員)

小島奉子氏 (ワシントン大学上席研究員) を、  
第 35 回日本神経科学大会における講演者として招待。25 万円。  
研究テーマ「運動学習における小脳-基底核連関を探る」

申込者：貝瀬弘三 (第 35 回神経科学学会大会長)

クラウディア・バーニ氏 (ローマ大学教授) を、  
第 35 回日本神経科学大会における講演者として招待。30 万円。  
研究テーマ「脆弱 X 染色体症候群におけるシナプス可塑性の分子基盤」

申込者：山本亘彦 (大阪大学大学院教授)

マイケル・クレア氏 (エール大学准教授) を、  
第 35 回日本神経科学大会における講演者として招待。25 万円。  
研究テーマ「視覚地図形成における Hebb 則の役割」

申込者：加藤忠史 (理化学研究所脳科学総合研究センター チームリーダー)

シンユウ・ツァオ氏 (ウイスコンシン大学准教授) を、  
第 35 回日本神経科学大会における講演者として招待。25 万円。  
研究テーマ「成体脳ニューロン新生を制御するエピジェネティックメカニズムのクロストーク」

- 申込者：平田雅之<sup>ひらたまさゆき</sup>（大阪大学大学院医学系研究科特任准教授）  
 ジョセフ・オードハティー氏（カリフォルニア大学博士後研究員）を、  
 第 35 回日本神経科学大会における講演者として招待。25 万円。  
 研究テーマ「BMI の感覚フィードバック」
- 申込者：村山正宜<sup>むらやまさのり</sup>（理化学研究所脳科学総合研究センター チームリーダー）  
 アルバート・リー氏（ジャネリアファーム グループリーダー）を、  
 第 35 回日本神経科学大会における講演者として招待。25 万円。  
 研究テーマ「自由行動動物からのパッチクランプ法」
- 申込者：樽井正義<sup>たるいまさよし</sup>（第 26 回日本エイズ学会総会 会長）  
 ピーター・ピオット氏（ロンドン大学公衆衛生学教授）を、  
 第 26 回日本エイズ学会学術集会における講演者として招待。25 万円。  
 研究テーマ「グローバルな視点からみたエイズ研究」

#### 4. 普及啓発事業

##### (1) 講演会等の開催

###### ① 「塚原仲晃賞」受賞記念講演会

平成 23 年 9 月 15 日（木）午後 2 時から午後 4 時

横浜国際会議場にて、第 25 回（平成 22 年度受賞者）塚原仲晃賞受賞記念講演会  
 を開催。対象は脳科学関係の研究者。参加者約 500 名。入場無料。

###### ② 「脳の世紀」シンポジウム

平成 23 年 9 月 7 日（水）午前 10 時 15 分より有楽町朝日ホールにて「脳の世紀」  
 シンポジウムを NPO 法人脳の世紀推進会議と共同開催。

特別講演及び“脳を知る”“脳を育む”“脳を守る”のテーマについて講演。

対象は一般市民。参加者約 600 名。入場無料。

特別講演：「災害に震える脳」

山折哲雄（宗教学者）

特別講演：「認知症へのテクノロジー支援」

坂村 健（東京大学大学院情報学環）

脳を知る：「記憶形成のダイナミクス」

井ノ口馨（富山大学大学院医学薬学研究部）

脳を育む：「広汎性発達障害（自閉症）の理解と治療に向けて」

北澤 茂（大阪大学大学院生命機能研究科）

脳を守る：「トラウマからの回復」

金 吉晴（国立精神・神経医療研究センター）

###### ③ 「世界脳週間」の開催

「世界脳週間」を NPO 法人脳の世紀推進会議と共同開催。

2011 年度は春から秋にかけて全国の下記 13 会場にて開催し、公開講演、討論、  
 病院や研究所の公開、学校訪問などを実施。対象者は中高校生及び学校関係教職  
 員と一般市民。参加費無料。

奈良女子大学附属中等教育学校、新潟大学脳研究所、京都市立堀川高等学校、  
群馬大学アムニティー講義室、名古屋市立大学向陽高等学校、岡崎「げんき館」、  
広島大学医学部、桐朋中学・高等学校、せんだいメディアテーク、玉川大学工学部、  
北海道大学歯学総合研究棟、理化学研究所、桜蔭学園

「世界脳週間」とは、脳科学の科学としての意義と社会にとっての重要性を一般に啓発することを目的として、世界的な規模で行われるキャンペーンで、1993年アメリカ合衆国での開催を皮切りに全世界に拡大し、我が国は2000年に参加。

## (2) 広報活動

研究報告集：第24回塚原仲晃記念賞受賞者及び第24回研究助成受領者の研究報告を「ブレインサイエンス・レビュー2012」として編集。

## II. 処務の概要

### 1. 役員に関する事項

#### (1) 理事及び監事

平成24年3月31日現在の理事・監事は別紙記載のとおり。

#### (2) 理事会

平成23年度第1回理事会（平成23年5月25日開催）

##### 議決事項

- ①平成22年度事業報告
- ②平成22年度収支決算報告

平成23年度第2回理事会（平成24年2月28日開催）

##### 議決事項

- ①第26回塚原仲晃記念賞、研究助成及び第25回国際交流助成の選考について
- ②平成24年度事業計画について
- ③平成24年度収支予算について
- ④選考委員の選任について
- ⑤「寄附金等取扱規程」について

##### 承認事項

- ①理事及び監事の推薦について

### 2. 評議員に関する事項

#### (1) 評議員

平成24年3月31日現在の評議員は別紙記載のとおり。

#### (2) 評議員会

平成23年度第1回評議員会（平成23年6月14日開催）

##### 議決事項

- ①平成22年度事業報告
- ②平成22年度収支決算報告

平成 23 年度第 1 回臨時評議員会（平成 24 年 3 月 22 日開催）

承認事項

- ①第 26 回塚原仲晃記念賞及び研究助成、第 25 回国際交流助成の選考について
- ②平成 24 年度事業計画について
- ③平成 24 年度収支予算について
- ④選考委員の選任について
- ⑤「寄附金等取扱規程」の承認について

3. 選考委員に関する事項

(1) 選考委員

平成 24 年 3 月 31 日現在の選考委員は別紙記載のとおり。

(2) 選考委員会

平成 23 年度選考委員会（平成 24 年 2 月 15 日開催）

協議事項

- ①第 26 回塚原仲晃記念賞受賞者の選考
- ②第 26 回研究助成受領者の選考
- ③第 25 回国際交流助成受領者の選考

4. 顧問に関する事項

平成 24 年 3 月 31 日現在の顧問は別紙記載のとおり。

5. 事務局職員に関する事項

事務局長 佐藤裕子

事務局員 小杉夏子

6. 登記に関する事項

なし

7. 寄附金に関する事項

寄附金収入額は 5,000,000 円（企業 1 社より）

## 理事及び監事

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

理事長	伊藤 正男	理化学研究所脳科学総合研究センター特別顧問
常務理事	川合 述史	千葉・柏リハビリテーション病院精神神経センター長
	貴邑富久子	横浜市立大学名誉教授
理事	久保田 競	国際医学技術専門学校副校長
	永津俊治	名古屋大学及び藤田保健衛生大学医学部名誉教授
	廣川信隆	東京大学大学院医学系研究科特任教授
	御子柴克彦	理化学研究所脳科学総合研究センターチームリーダー
	吉田正弘	本田技研工業株式会社取締役
監事	伊藤 醇	公認会計士
	岡田秀樹	本田技研工業株式会社監査役

## 評議員

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

議長	大塚 正徳	東京医科歯科大学名誉教授
評議員	葛西道生	大阪大学名誉教授
	金澤一郎	国際医療福祉大学大学院教授
	酒田英夫	元日本大学医学部教授
	鈴木良次	金沢工業大学研究支援機構顧問
	津本 忠治	理化学研究所脳科学総合研究センターチームリーダー
	外山敬介	株) ATR 脳情報研究所 招聘研究員
	水野 昇	京都大学名誉教授

## 選考委員

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

委員 長	宮下保司	東京大学大学院医学系研究科教授
委 員	飯野正光	東京大学大学院医学系研究科教授
	岡野 栄之	慶応義塾大学医学部教授
	岡部 繁男	東京大学大学院医学系研究科教授
	河田 光博	京都府立医科大学大学院医学研究科教授
	川人 光男	株式会社 ATR 脳情報研究所長
	高橋良輔	京都大学大学院医学研究科教授
	西川 徹	東京医科歯科大学大学院教授
	三品 昌美	東京大学大学院医学系研究科教授

## 顧 問

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

川本 信彦	本田技研工業株式会社最高顧問
佐野 豊	京都府立医科大学名誉教授
椎名 武雄	日本アイ・ビー・エム最高顧問
塚原眞佐子	故塚原仲晃教授夫人
森 亘	東京大学名誉教授